

行動

便秘で排便に時間がかかる。疲れると便器の隣で横になりながら排便をおこなっている。

原因

- ・ 向精神薬を内服している
- ・ 好き嫌いが多く食事や水分摂取量が少ない
- ・ 活動量が少なく腸蠕動運動を促しにくい
- ・ 硬便である。

支援

- ・ 排便確認
- ・ 可能時には腹部の触診と聴診
- ・ 給食に依頼しポカリスエットやヨーグルトの提供依頼
- ・ 主治医に相談し便秘薬の追加処方依頼する。

結果

水分摂取量が増えたことや便秘薬の追加により、便の性状が普通便になり排便しやすくなった。しかし、体調を崩してから食事、水分摂取量が低下してしまったため、今後も観察をおこないながら児童にあった便秘対策が必要である。